

年間授業計画

福生 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地歴科 科目 世界史探究

教科 地歴科 科目 世界史探究 単位数 4 単位

対象学年組 第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書 (詳説 世界史【山川出版社】)

教科 地歴科 の目標

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人類の誕生に始まる世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界と日本の歴史を関連付けながら理解しているとともに、諸資料から現代の世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	人類の誕生に始まる世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	人類の誕生に始まる世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 各地の古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	1. 人類の誕生 2. 文明の誕生 3. 古代オリエント文明とその周辺 4. 南アジアの古代文明 5. 中国の古代文明 6. 南北アメリカ文明	【知識及び技能】 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 各地の古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
	東～南アジア世界の展開 【知識及び技能】 古代中国の統一国家の支配体制について、前後の時代と比較したうえで理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 インド洋航海図（地図）や『エリュトラー海案内記』などの資料をもとに、古代アジア世界の広がりや多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 東～南アジア文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	1. 中央ユーラシア 草原とオアシスの世界 2. 秦・漢帝国 3. 中国の動乱と変容 4. 東アジア文化圏の形成 5. 仏教の成立と南アジアの統一国家 6. インド古典文化とヒンドゥー教の定着 7. 東南アジア世界の形成と展開	【知識及び技能】 古代中国の統一国家の支配体制について、前後の時代と比較したうえで理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 インド洋航海図（地図）や『エリュトラー海案内記』などの資料をもとに、古代アジア世界の広がりや多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 東～南アジア文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	24
	西アジアと地中海周辺の国家形成 【知識及び技能】 ギリシア・ローマにおいてどのような経緯で政治的な発展がみられたのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 当時の地中海世界の状況をふまえたうえで、キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 西アジアと地中海周辺の国家形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	1. イラン諸国家の興亡とイラン文明 2. ギリシア人の都市国家 3. ローマと地中海支配 4. キリスト教の成立と発展	【知識及び技能】 ギリシア・ローマにおいてどのような経緯で政治的な発展がみられたのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 当時の地中海世界の状況をふまえたうえで、キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 西アジアと地中海周辺の国家形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

福生 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地歴科 科目 世界史探究

教科： 地歴科 科目： 世界史探究 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 詳説 世界史【山川出版社】 ）

教科 地歴科 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人類の誕生に始まる世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界と日本の歴史を関連付けながら理解しているとともに、諸資料から現代の世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	人類の誕生に始まる世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	人類の誕生に始まる世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 【知識及び技能】 イスラーム教の成立や勢力拡大の様子や、ヨーロッパ世界がどのように展開していったのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 イスラーム政権の拡大を示す地図やアラベスクなどの図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 変動する西アジアの情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	1. アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2. ヨーロッパ世界の形成 3. イスラーム教の諸地域への伝播 4. 西アジアの動向	【知識及び技能】 イスラーム教の成立や勢力拡大の様子や、ヨーロッパ世界がどのように展開していったのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 イスラーム政権の拡大を示す地図やアラベスクなどの図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 変動する西アジアの情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	ヨーロッパ世界の変容と展開 【知識及び技能】 中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況とその特徴について、従来との比較をふまえて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 大憲章や金印勅書などの資料をもとに、中央集権国家の形成に向けた各国の動きの共通点と相違点を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 中世のヨーロッパ世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組む。	1. 西ヨーロッパの封建社会とその展開 2. 東ヨーロッパ世界の展開 3. 西ヨーロッパ世界の変容 4. 西ヨーロッパの中世文化	【知識及び技能】 中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況とその特徴について、従来との比較をふまえて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 大憲章や金印勅書などの資料をもとに、中央集権国家の形成に向けた各国の動きの共通点と相違点を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 中世のヨーロッパ世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	東アジア世界の展開とモンゴル帝国 【知識及び技能】 「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 モンゴル帝国の最大領域を示す地図や「混一疆理歴代国都之図」などの図像資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組む。	1. アジア諸地域の自立化と宋 2. モンゴルの大帝国 3. アジア交易世界の興隆 4. ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	【知識及び技能】 「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 モンゴル帝国の最大領域を示す地図や「混一疆理歴代国都之図」などの図像資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

福生 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地歴科 科目 世界史探究

教科 地歴科 科目 世界史探究 単位数 4 単位

対象学年組 第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書 (詳説 世界史【山川出版社】)

教科 地歴科 の目標

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人類の誕生に始まる世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界と日本の歴史を関連付けながら理解しているとともに、諸資料から現代の世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	人類の誕生に始まる世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	人類の誕生に始まる世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3 学 期	アジア諸帝国の繁栄 【知識及び技能】 清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ムガル帝国時代の細密画などの図像資料や領域を示す地図などをもとに、ムガル帝国の興隆と衰退が南アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 オスマン帝国とサファヴィー朝について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだし、見通しを持って学習に取り組む。	1. オスマン帝国とサファヴィー朝 2. ムガル帝国の興隆 3. 清代の中国と隣接諸地域	【知識及び技能】 清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ムガル帝国時代の細密画などの図像資料や領域を示す地図などをもとに、ムガル帝国の興隆と衰退が南アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 オスマン帝国とサファヴィー朝について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだし、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
							合計
							140